

### 影響の程度に係る表記案

これらの図は、動物、植物の各予測手法と予測結果を踏まえた環境保全措置へ至る考え方について取りまとめたものです。

予測手法については、直接的影響と間接的影響の2つについてそれぞれ検討をしていることを表わしており、各予測結果は上から直接的影響（1段目）、工事中の間接的影響（2段目）、存在・供用時の間接的影響（3段目）となります。

「C. 影響が極めて小さい」場合か又は「D. 影響はない」場合以外にあっては、すなわち、どれか一つでも「A. 影響は大きい」場合か又は「B. 影響は生じる・小さい」場合においては、次のステップの「環境保全措置の検討」を行うこととなります。

なお、準備書中の動物及び植物の各予測方法のところで、予測及び環境保全措置の検討の考え方と題した図面として添付する予定です。

1. 動物

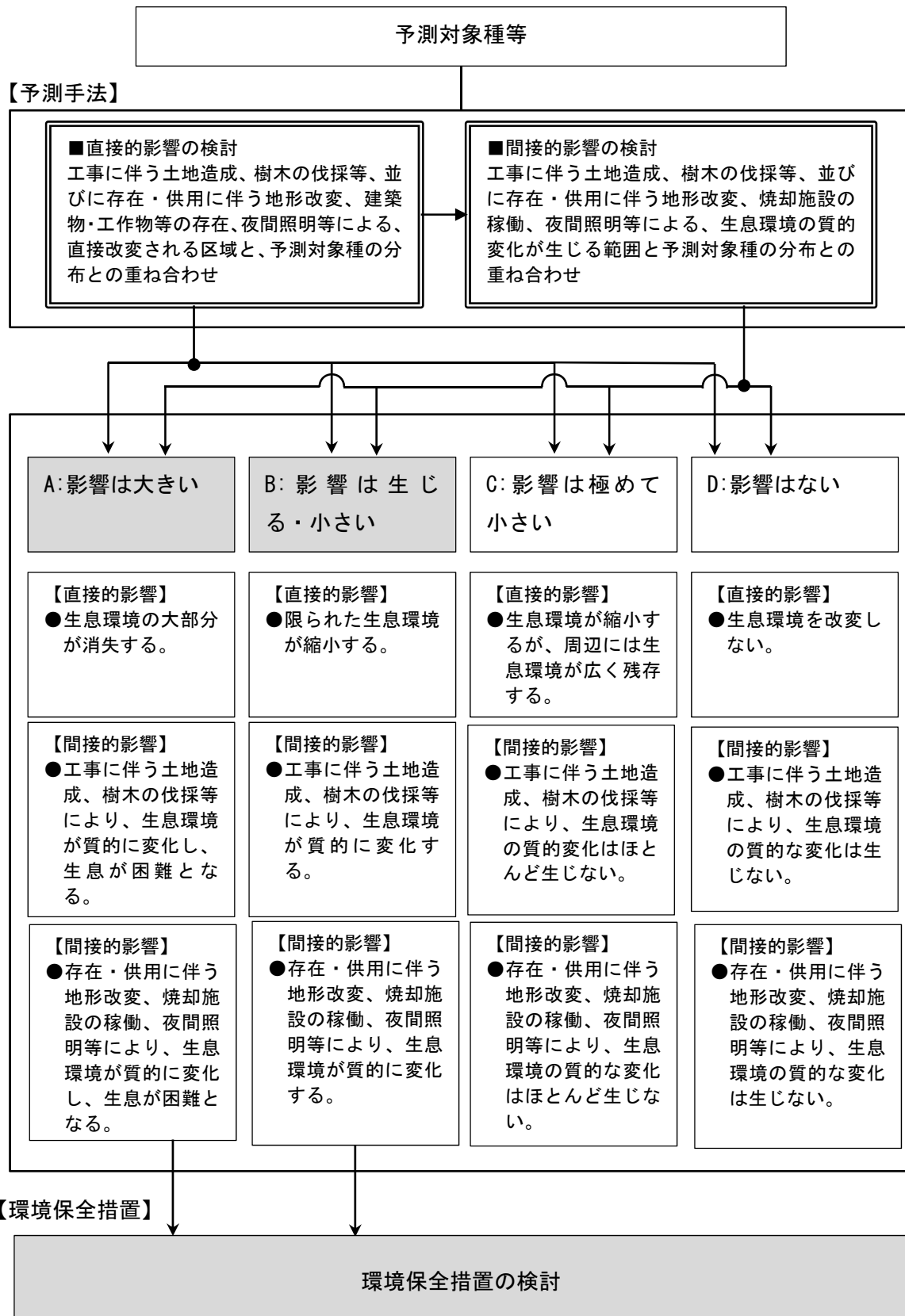


図-1 予測及び環境保全措置の検討の基本的な考え方（動物）

2. 植物

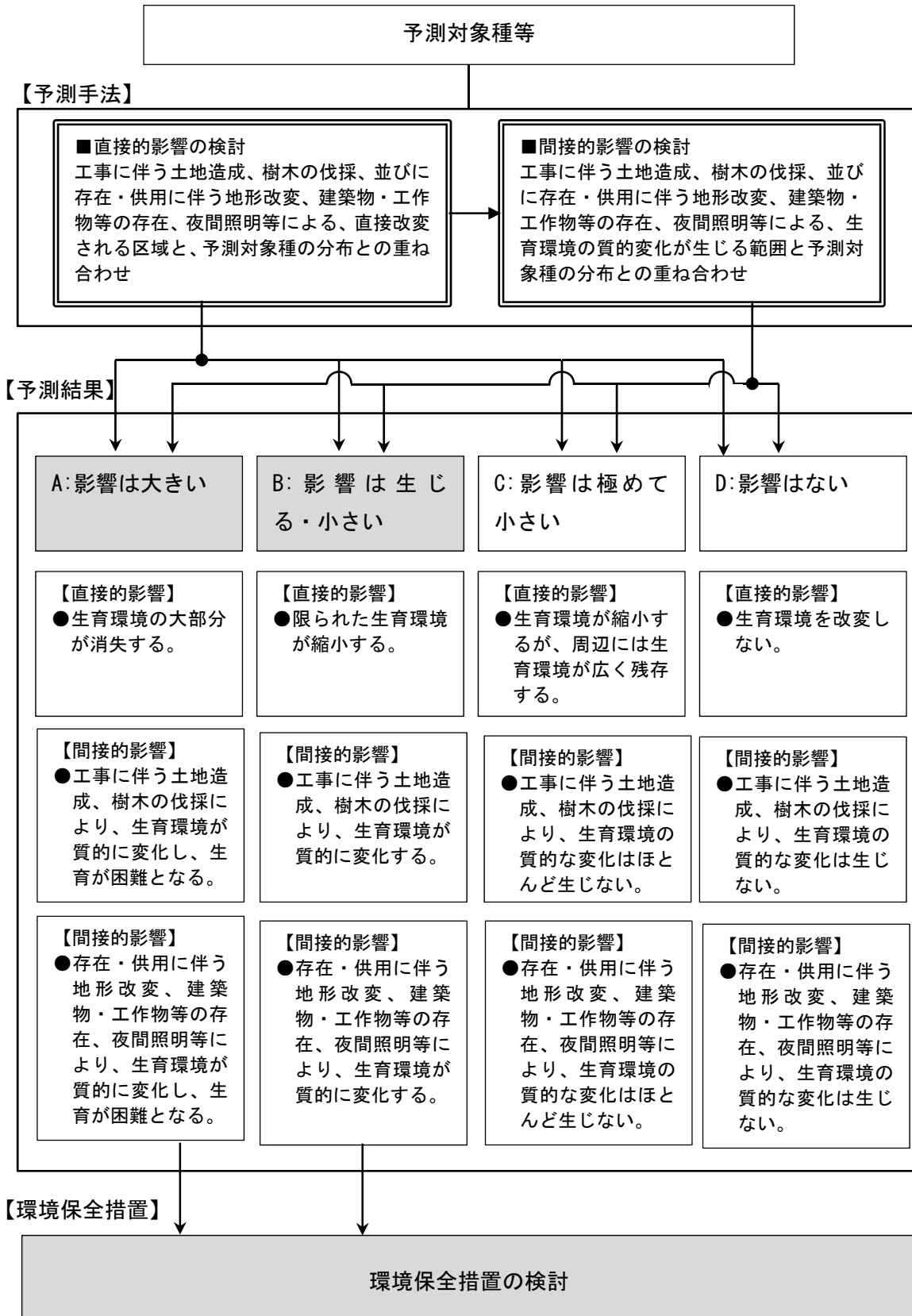


図-2 予測及び環境保全措置の検討の基本的な考え方（植物）